

最近
よく聞く

劇症型溶血性レンサ球菌って何？

- ・国立感染症研究所によると、2023年の1年間に全国から報告された劇症型溶血性レンサ球菌感染症の患者数が**941人(速報値)**となり、**過去最多の報告数**となりました。
- ・**病原性・伝播性が高い株**が2023年夏以降に**日本国内で初めて確認**されています。

Q:劇症型溶血性レンサ球菌感染症とはなんですか？

- ・**レンサ球菌による感染症**になります。レンサ球菌は感染しても無症状なことも多く、症状が出てもほとんどは咽頭炎(のどの炎症)や皮膚の感染症にとどまります。
- ・しかし、**通常は細菌が存在しない組織(血液、筋肉)にレンサ球菌が侵入し、急激に症状が進行する重篤な疾患**となることがあり、「**劇症型溶血性レンサ球菌感染症**」と呼ばれています。
- ・幅広い年代で感染の報告がありますが、**特に30歳以上の大人に多いのが特徴**です。



Q:感染すると、こういった症状がでますか？

- ・初期症状として、**手足の強い痛みや腫れ、創部の発赤、風邪様症状(咽頭痛、発熱、悪寒)、消化器症状(吐き気、嘔吐、下痢)**などが現れます。ただし、明らかな症状がない場合もあります。
- ・症状の進行は早く、**発症後数十時間以内に、筋肉や脂肪の炎症や壊死(腫れた皮膚が真っ黒くなる)、血液凝固異常、呼吸障害、多臓器不全が進行し、死に至る場合もあります。**

Q:こういったことが原因で感染しますか？

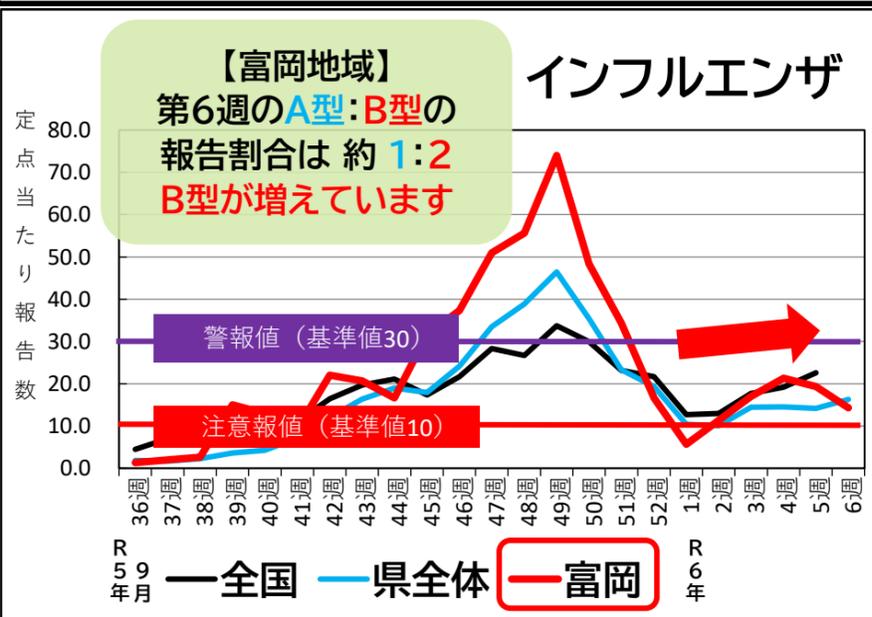
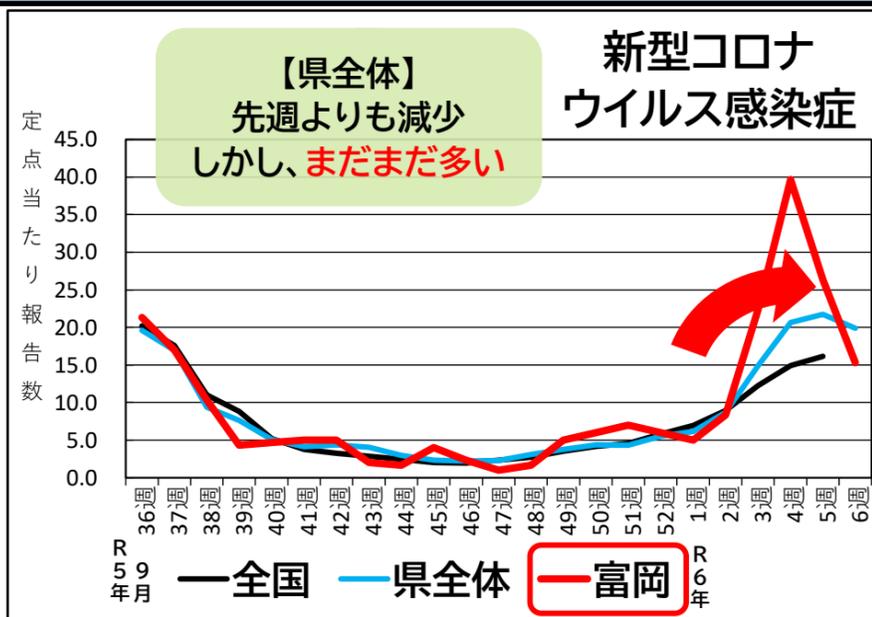
気づかないほどの皮膚の小さな傷口や粘膜からレンサ球菌が侵入することによって感染するケースが報告されていますが、実際の感染経路は明らかになっていない部分も多いです。

Q:予防のポイントはなんですか？

- ・傷を清潔に保ち、創部の発赤や腫脹、手足の痛み、発熱など、感染の兆候が見られた場合には、直ちに医療機関を受診して下さい。
- ・**早期診断・早期治療がもっとも重要です。**

全数報告(富岡保健所管内)

なし



※感染症法に基づき実施されている感染症発生動向調査(群馬県)のデータを元に集計・作成しております

★その他の感染症の情報は群馬県ホームページで公開しています★

「群馬県感染症情報」で検索するか、以下URLもしくはQRコードからご確認ください。

<https://www.pref.gunma.jp/page/3296.html>

